

山行報告書

日時	2022年10月1日(土)・2日(日)		天候	晴れ
山名	第3回アゼリア塾(ツェルト泊)			
CL	フジ	参加者	sara・S行・ナン・SH・ひとみ(総勢6名)	
(コース)	10月1日(土)宝満山 最終林道一の鳥居9:10-宝満山10:20 -三郡山12:40 12:40 -キャンプセンター14:10 ツェルト講習 10月2日(日)キャンプセンター7:40-宝満山 最終林道一の鳥居9:20			
(コメント)	<p>ツェルト講習を兼ねた宝満山・三郡山山行に参加しました。 普段持つてはいても、実際使うこともなくザックにしまっておりますので、いい機会になりました。</p> <p>ただ、実際使う場面が来るとしたら、暴風雪などで進退窮まった時などの非常事態だと思しますので建てて使うよりも、くるまって使うほうが多いと思います。そのような場面に遭遇しないよう注意したいと思います。</p> <p>今回は都合により宿泊できず下山しましたので、参加された皆さんとゆっくり出来なかったことが心残りです。また次回よろしくお願ひいたします。(記 S行)</p> <p>宝満山の山頂直下にあるキャンプ場でのツェルト泊山行に参加しました。ツェルトは案外簡単に張れました。夕食の準備をした後、宝満山の山頂で夕日の眺めをしばらく楽しみ、キャンプ場に戻って、ゆったりと飲んで食べて話しての時間を過ごしました。</p> <p>いざという時にはこんな感じでツェルトを張る事はできないとは思いますが、良い経験になりました。し、参加者の皆様にはお世話になり、ありがとうございました。(記:sara)</p> <p>初秋の宝満、三郡縦走後、キャンプサイトにて、ツェルト泊を経験させて頂きました。形状によっては設営や使用法も異なるので緊急事態に備えて唯、携帯するだけでなく、実際に経験する事はとても大事だと思いました。</p> <p>何より、茜色に染まった宝満山頂でのsunset.sunriseを見ることが出来て良かったです。ご一緒して下さいました皆様、有難うございました。(記:ひとみ)</p> <p>ツェルトを使ったビバーク体験を一度してみたい、と参加しました。 痛感した教訓は「初めて使う道具に事前練習は必須」です。 塾の1週間前、未使用だったツェルトを広げてみたらポンチョタイプと判明。 慌てて2~4人用の箱形ツェルトをネットで買いました(日本製、約1万7千円)。 それを部屋で広げて張り綱を通すループも確認、ペグも買い足し本番に臨みました。 宝満山キャンプセンターで、ポールを使って組み立てようとしても一向にテント姿にならず、おかしいなあと。 リーダーのフジさんはじめ泊まるメンバー4人は、既にツェルトを張り終えテーブルで談笑しています。焦って説明書をまじまじと見ると、ツェルト内で人が体育座りする図しかありません! 「かぶって座る」タイプだったので(実用性はあり)。 結局、ツェルトに収まらない膝から下を夜空にさらし、寝るしかありませんでした。シュラフカバーがなかったら寒くて悲惨だったでしょう。 これまで会山行の参加が極端に少なかったのも、みなさんと夕食や日没観賞などを共にし、個々のキャラクターを知ることができてよかったです。(記 ナン)</p> <p>ツェルト泊、今回で二回目です。昨年、ツェルト購入して、使う事が無かった。 軽く、持ち運びには最適ですが、野営するには、使い勝手が悪く思う。 雨、風に弱く、今回は夜露がひどく、顔に落ちてきて、眠れなかった。 ザックの片隅に常に入れて置き、野営する場合はテントが良い。(記 SH)</p> <p>ここ毎年行っているツェルト設営ですが毎年忘れてしまい事前に練習して実践に挑みました。緊急時には設営ではなくかぶる方になると思いますが使い方を覚えることは大事だと思います、おそらく皆さん持つてただけで使った事がないと思います、僕も数年前まではそうでした。人が変われば良い道具も知ることが出来、今回も大変勉強になりました。定期的を使用することが大事だと思ひます(記 フジ)</p>			



(2019/3/10改訂)